

2013年3月22～24日の宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第16回派遣 活動報告～

四日市東日本大震災支援の会

代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

<活動の概要>

震災から2年がたちますが、まだ復興への道のりは長くなることが確実視されています。仮設住宅では、高齢者中心に、孤立・引きこもりなどの問題が深刻で、コミュニティ形成や交流の促進などが必要とされています。支援の会では、再び高校生と大学生による交流イベントを実施しました。今回の派遣は、高校生の参加者を広く募集し、高校生と大学生が協働で活動しました。さらに、津軽三味線ユニット“KUNI-KEN”、クラウン“はず”が参加、楽しいパフォーマンスを披露しました。本隊は両夜行のいわゆる弾丸ツアーでしたが、KUNI-KENと4名のスタッフは1泊し、翌日曜にも2か所の仮設住宅でライブ&お茶会を開催しました。

★仮設住宅交流ボランティアの概要

- ・足浴+血圧測定（四日市看護医療大学が企画・実施、高校生が補助）
- ・三重のお茶とお菓子で交流（四日市大学が企画・準備、全員で実施）
- ・子どもたちと遊ぼう！（高校が協働で企画・実施）
- ・仮設住宅を全戸別訪問して見守り巡回（高校が協働で企画・運営）
- ・クラウンによるパフォーマンス（2か所）
- ・津軽三味線ユニット KUNI-KEN によるライブ（5か所）

<参加者 46名>

四日市大学	学生7名+教員1名
四日市看護医療大学	学生7名+教員3名
桑名北高校	生徒8名+教諭1名
暁中学高等学校	生徒7名+教諭1名
メリノール女子学院	生徒7名+教諭1名
ゲスト	KUNI-KEN(2名)クラウンはず(1名)

<スケジュール>

3月 22日(金)	06:30	先発隊3名が高速バスで名古屋駅を出発 → 現地調整 → 宮戸宿泊
	18:00	本隊；四日市大学集合、全体ミーティング⇒19:30 出発
23日(土)	07:00	本隊；三陸道春日 PA で最終休憩
	08:00	先発隊・本隊合流；宮城県東松島市野蒜地区視察(斉藤・佐々木に被災の話を聴く)
	09:00	本隊；グリーンタウン仮設に到着、戸別訪問 and 交流会準備
	10:30	KUNI-KEN&はず；ゆりの里(デイサービス施設)にてパフォーマンス
	11:30	昼食(サンショップ矢本で手配した幕の内弁当)
	12:30	本隊；交流イベント開始
	13:00	KUNI-KEN；ひびき工業団地仮設にて演奏会
	15:30	クラウンはずのパフォーマンスショー
	16:30	KUNI-KEN のライブ
	17:00	片付け 本隊；→仙台で入浴 →名古屋へ向けて出発
	19:00	延泊組；矢本運動公園仮設食堂で小野さんと夕食、元気の湯で入浴、集会所で仮眠
24日(日)	06:30	本隊；四日市帰着、片付け後、朝食。振り返りミーティング後、解散
	10:00	(以下延泊組)矢本運動公園仮設にて KUNI-KEN ライブ
	14:00	根古仮設住宅集会所にて KUNI-KEN ライブ
	16:00	仙台で入浴
	21:30	仙台出発、高速バスで名古屋へ
25日(月)	06:30	バス名古屋に到着、解散

<協賛>いつも、ありがとうございます！ *敬称は略させていただきます

★水沢茶農業協同組合、菊屋、太白永餅金城軒・なが餅笹井屋・紅屋・あきぞう・亀良・保々屋

<助成金>

★赤い羽根の中央共同募金会「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」の助成を受けて活動しました。

KUNI-KEN&はず ; パフォーマンス



出発前のミーティング



看護の学生が足浴、高校生が肩を揉む



笑顔！



アクリルたわしの製作



交流会のクラウンはず

